

学生の学修状況調査の集計結果について

2019年度から実施している内容で、本学（武蔵丘短期大学）学生の学修状況等を把握し、教育の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的として、「平均的な1週間の行動パターン」について、調査を実施した。対象は、「自己表現とキャリア」（1年生）及び「健康生活演習」（2年生）の履修者とし、時期は2024年6月上旬～7月中旬の授業時間内に、健康教育・時間管理指導の一環も兼ねて行った。

有効回答数は、1年生が88名、2年生が63名であった。したがって、全学生（1年生112名、2年生93名（留年・休学者除く））に対する回答率は、1年生が78.6%、2年生が67.7%となった。

この調査から「1週間あたりの授業時間」「1週間あたりの授業外学習時間」「1週間あたりのアルバイト時間」「1日あたりの睡眠時間」「1日あたりのスマホ等使用（インターネット・SNS・YouTubeなど）時間」について、集計した結果は次の通りである。

「1週間あたりの授業時間」については、1年生は「16～21時間」が4%、「21～26時間」が64%、「26時間超」が32%であり、昨年度より授業時間数は増加し、調査開始以来もっとも多くなった。授業時間数が少ない健康マネジメント専攻1年生が存在しないことが原因と考えられる。2年生は「16～21時間」が46%と最も多く、「21～26時間」が17%であった。今年度は、16時間より少ない学生が減少している。

「1週間あたりの授業外学習」については、1年生は「1時間未満」が44%、「1～2時間台」が17%、「3～5時間台」が19%と、授業外学習時間が少ない現状があり、昨年度調査に比して「1時間未満」が増加している。学習習慣に課題があることがわかる。2年生についても、全体的に時間数が少ない。「1時間未満」は62%となり、調査開始以来もっとも大きい数値になっている。昨年度は39%であり、学習の習慣化についても課題がある。

「アルバイト時間」については、両学年とも1週間あたり「29時間以上」の学生が2%いる。学習時間に影響を与える可能性が伺える。2年生は「1～7時間未満」が25%で、「0時間」と合わせると52%となり、調査開始以来最もアルバイト時間が少ないといえる。

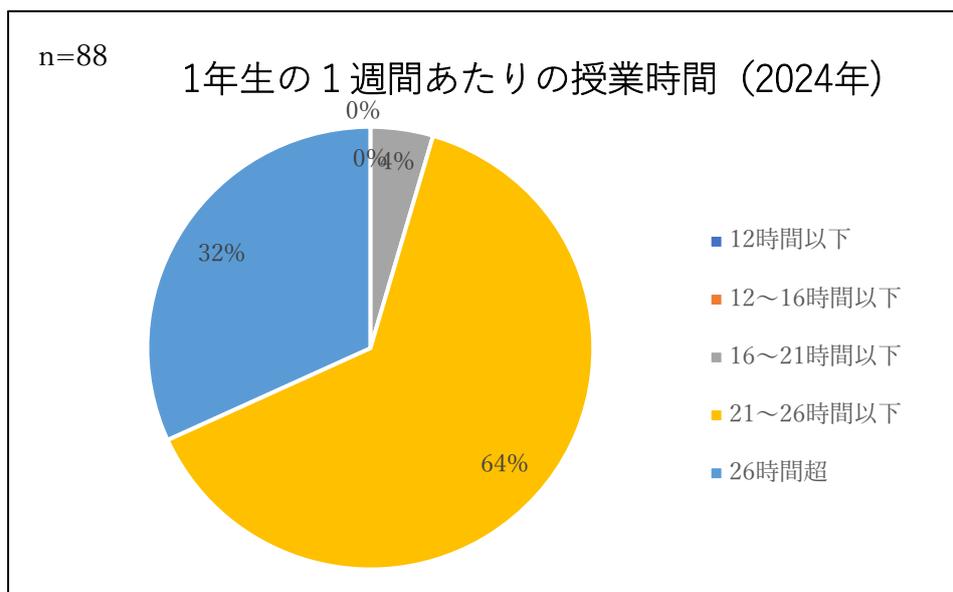
「1日あたりの睡眠時間」については、1年生は「6～7時間未満」が44%で最も多く、2年生では「5～6時間未満」32%、「6～7時間未満」32%となった。後述のスマホ等使用時間が影響していると考えられる。

「1日あたりのスマホ等使用時間」について、「6時間以上」が、1年生で18%、2年生では10%であった。このスマホ等使用については、生活習慣の乱れや睡眠不足な

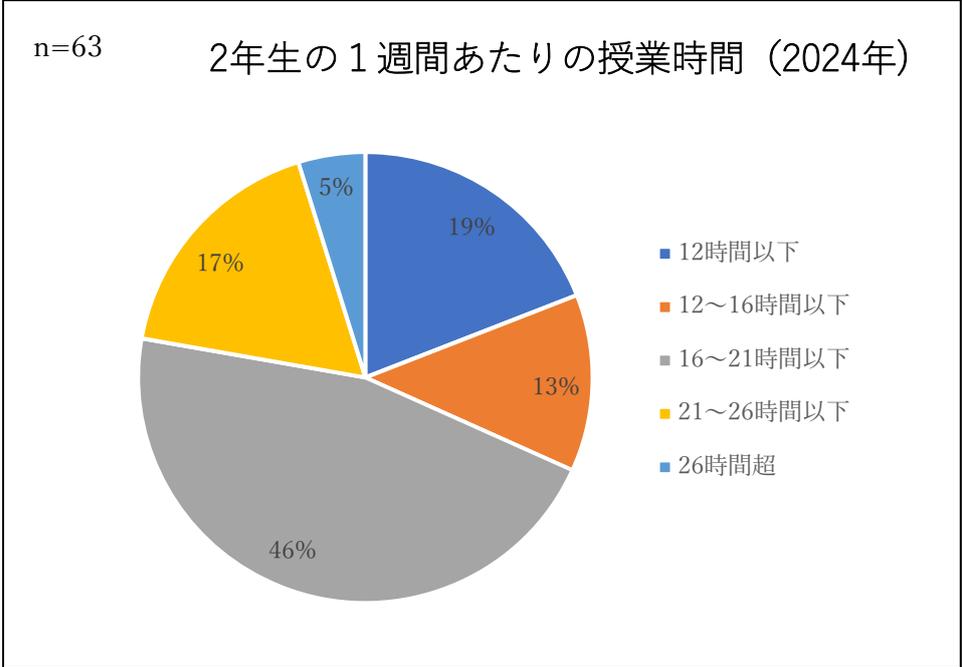
ど学習も含めた学生生活へ悪影響を及ぼす恐れがある。一方、教育・文化・スポーツ等健康に関する情報や進路情報など、学生のキャリア形成にとって役立つ内容も充実している。自己管理のもと、有効に活用することを期待したい。

(文責・福島邦男)

【1週間あたりの授業時間】



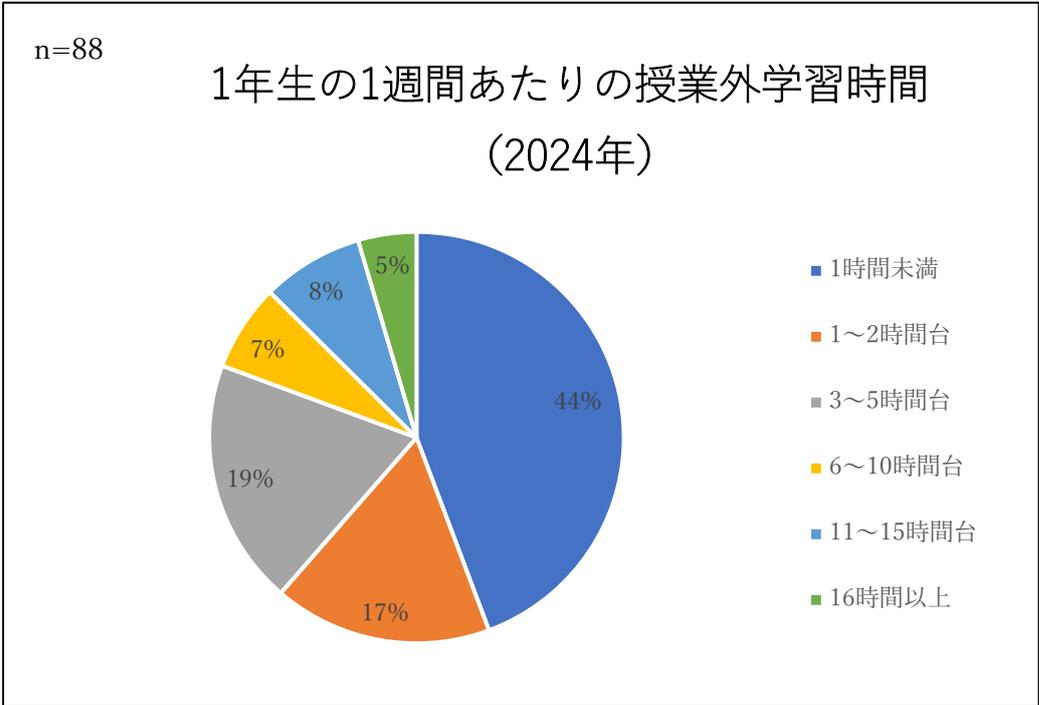
1年生の一週間あたりの授業時間 (2024年)



2年生の一週間あたりの授業時間 (2024年)

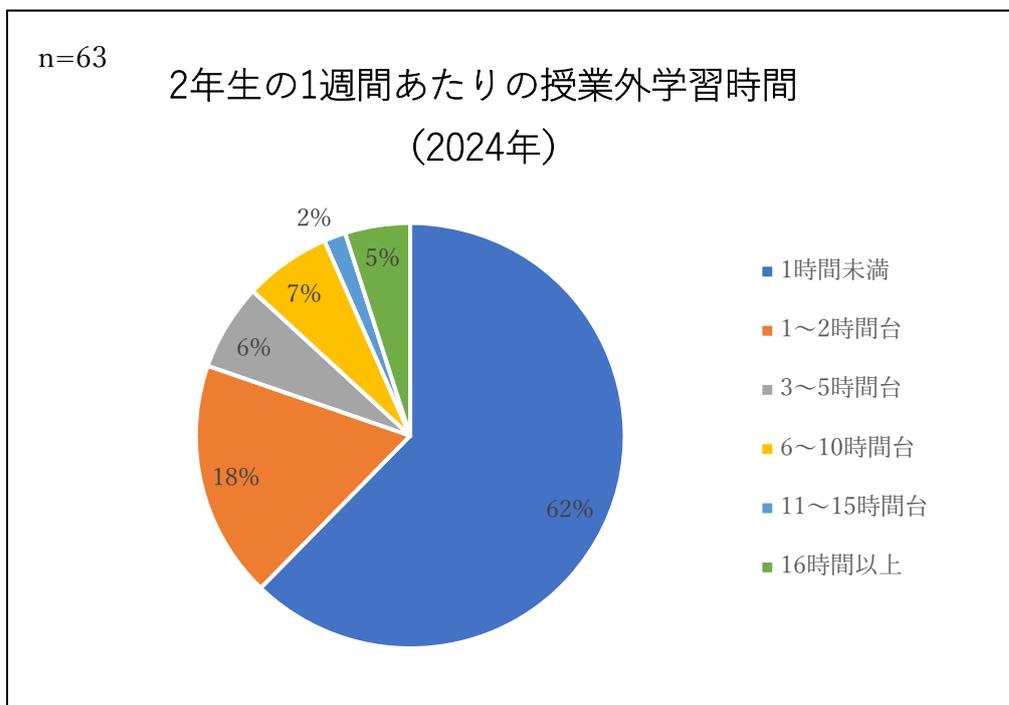
【1週間あたりの授業外学習時間】

1年生



1年生の一週間あたりの授業外学習時間 (2024年)

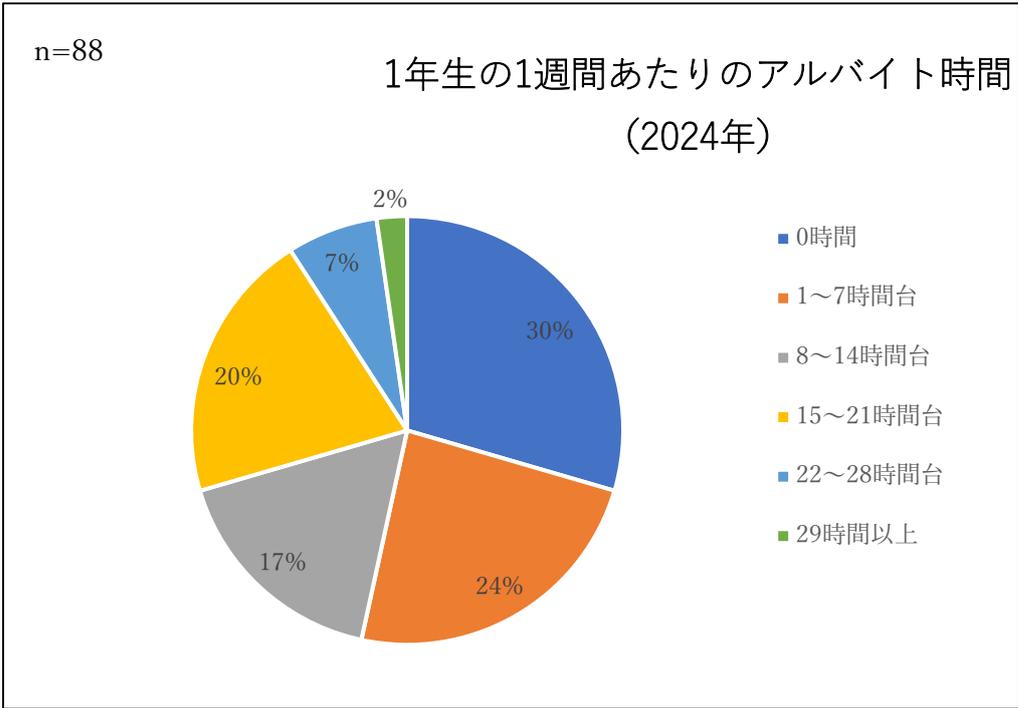
2 年生



2 年生の一週間あたりの授業外学習時間 (2024 年)

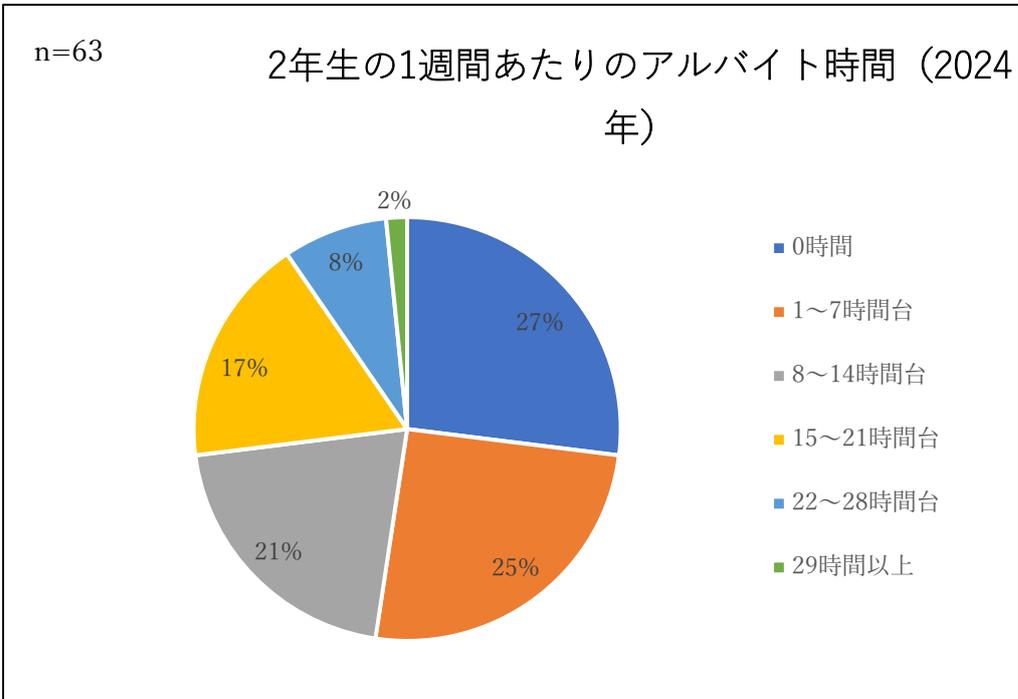
【1 週間あたりのアルバイト時間】

1 年生



1年生の一週間あたりのアルバイト時間 (2024年)

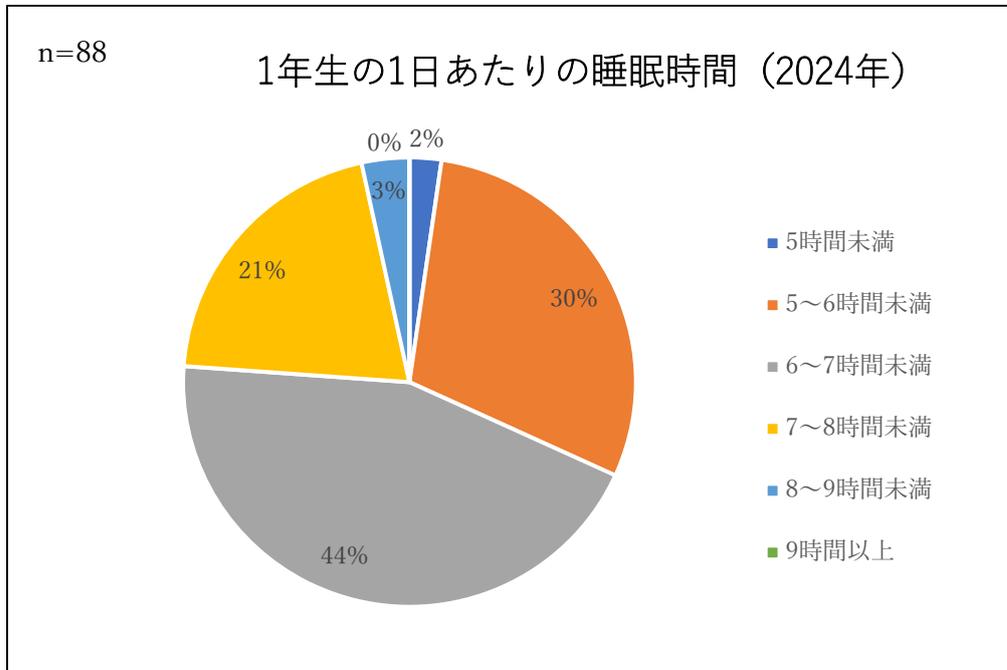
2年生



2年生の一週間あたりのアルバイト時間 (2024年)

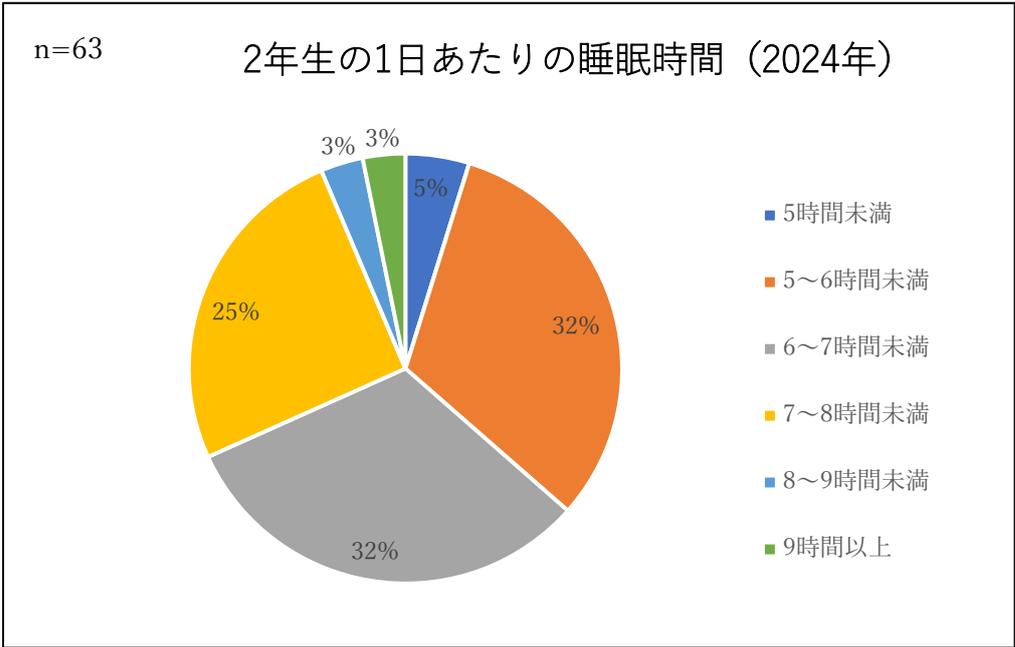
【1日あたりの睡眠時間】

1年生



1年生の1日あたりの睡眠時間（2024年）

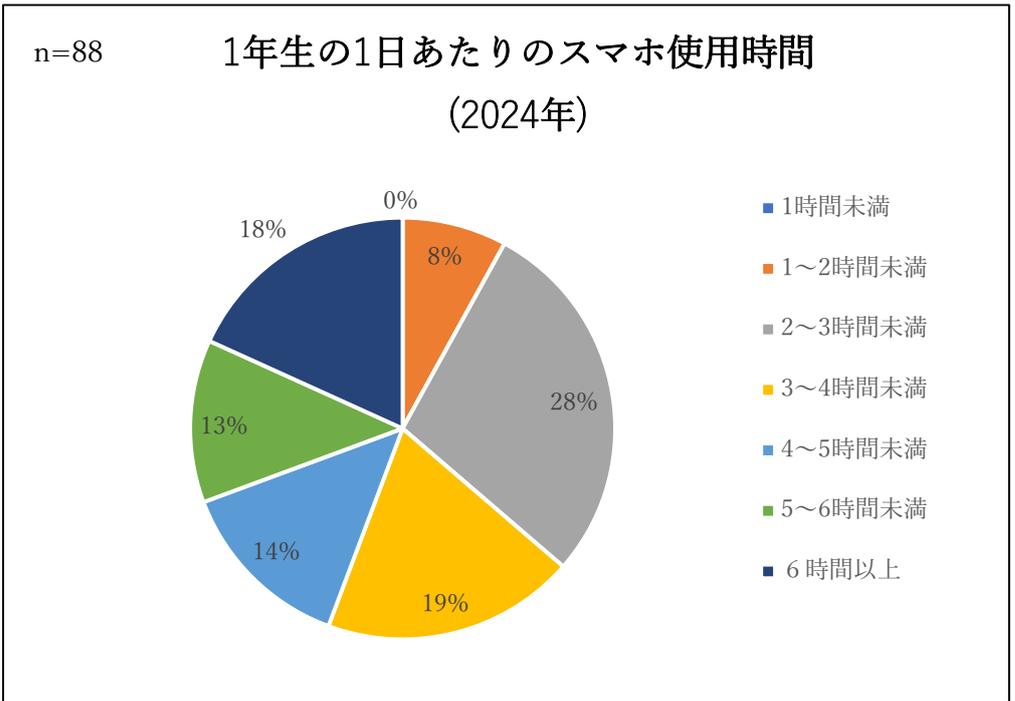
2年生



2年生の1日あたりの睡眠時間 (2024年)

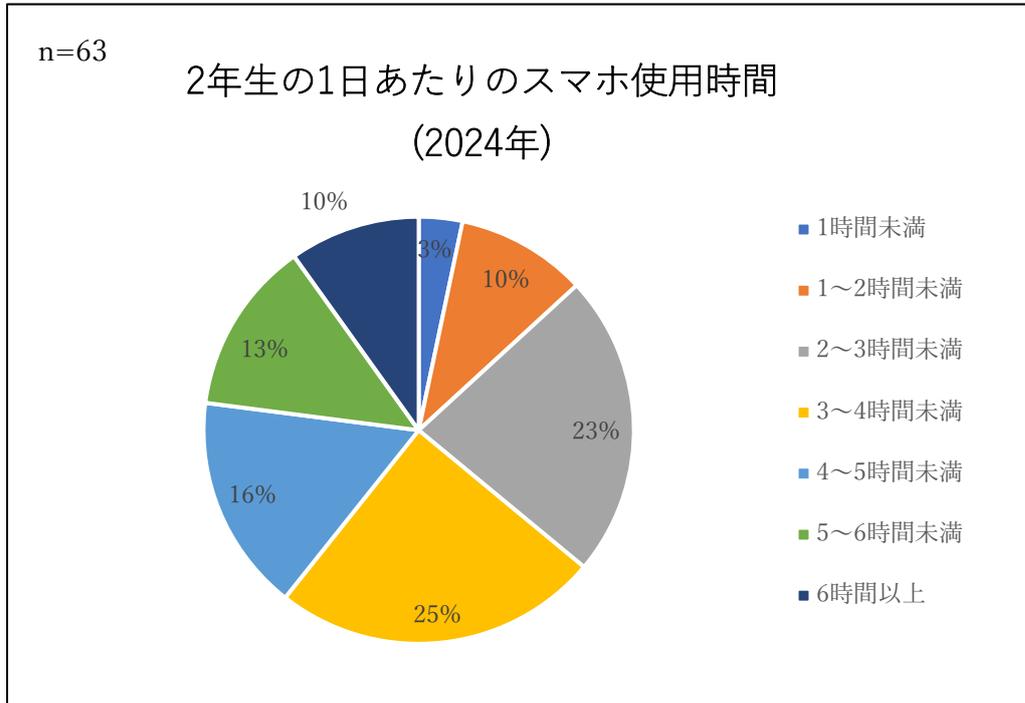
【1日あたりのスマホ等使用 (インターネット・SNS・You tube 含む) 時間】

1年生



1年生の1日あたりのスマホ使用時間(2024年)

2年生



2年生の1日あたりのスマホ使用時間(2024年)